平和を希求する心を育てる取組

報告年月日　　令和３年３月１６日
都市名・国　　埼玉県所沢市・日本

取組の名称	平和の語り部派遣事業
実施主体 （該当項目に✔）	□学校　☑自治体　□ＮＧＯ　□複合（　　）
テーマ・目的	戦争・被爆体験の継承　　（例:核兵器廃絶、テロ、暴力など）
対象者 （年齢･学年、人数等）	市内の小中学生４３０名程度（令和２年度実績）、市役所新入職員６０名程度 （例:12 歳の子ども 60 名、保護者や市民 30 人など）
実施場所	市内小中学校、市役所
実施期間	【学校】毎年度当初に学校から希望を募り、年度内に１回１時間程度で開催。 【市役所】毎年８月頃、２時間程度を１回開催。 ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。

取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）

【概要】

本取組は、広島で被爆を経験された方と東京大空襲を経験された方に「平和の語り部」としてご協力いただき、市内小中学校や市役所新入職員に向けて戦争体験を若い世代へ引き継ぐ目的で実施しているものです。

【次第（例）】

・講師紹介
・講義
・質疑応答　等

参加者の反応

学校、市役所ともに、参加者からは受講して良かったとの反応が多く寄せられています。

具体的には「戦争について学ぶ機会はあっても体験者の話を聞く機会はなかったので、貴重な経験となった」、「戦争の恐ろしさや悲惨さを改めて知ることができた」、また「今後もこうした（話を聞ける）取組みを続けていってほしい」との感想が多く上がっています。

成果

多くの参加者から「平和の大切さを改めて知った」「平和を考えるきっかけとなった」感想が寄せられており、若い世代の平和への意識醸成に寄与しています。

課題

コロナ禍で通常の開催形式が困難な状況が続く場合に、どのような代替策で実施するのが最善か検討が必要と認識しています。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

□掲載可能（素材を添付してください）　　□掲載不可　　□不明

※　画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。